

市教委ニュース

第250号（令和7年8月28日）



大阪大学体験学習ツアーを実施しました

8月18日（月）には大阪大学吹田キャンパスにてDNA実験教室を、豊中キャンパスにて複言語学習を実施し、8月19日（火）には吹田キャンパスにて理科実験とスーパーコンピュータ（以下、スパコン）の見学を実施しました。

両日合わせて、37人の市立小中学生が参加し、普段できない貴重な体験ができました。

DNA実験教室

青木教授と大学院生の方にご協力いただき、DNAを増やす実験を行いました。

子どもたちは、DNAに関することや実験についての説明を受けたあと、一人ひとり実験を行いました。

学校にない実験装置に触ることができ、子どもたちは興奮がとまらない様子でした。

「もっとやりたい」「科学者みたいに実験できれしかった」等の感想がありました。



複言語学習

岩居教授と大前准教授、そして留学生の方より韓国語、カザフ語、カタルーニャ語の「こんにちは」「ありがとう」「わたしの名前は〇〇です」「バイバイ」等の挨拶の言い方を教えてもらいました。

言語によって、発音や言い方が異なり、なかなか覚えられないくらい難しいものもありましたが、子どもたちは、先生や留学生とのやりとりを通して、何度も練習して、一人で言えるようになりました。「世界にはいろいろな言葉がある」「もっと学びたい」等の感想がありました。



理科実験教室

大阪大学D3センターでスパコン「SQUID」の見学と猪俣教授の指導による、「うそ発見器」の作成等を行いました。

スパコンの見学では、職員の方にスパコンにまつわるクイズを出していただき、性能や消費電力について学ぶことができました。「うそ発見器」の作成では、作成した基板と参加した16名がつながり、電力が流れていることを実際に感じることができました。「スパコンの新しい知識や自分で作ったうそ発見器の原理を知れて、阪大に行きたいと思いました」等の感想がありました。



スパコン「SQUID」の前で記念撮影！